

令和6年度

決算特別委員会付属資料

(後期高齢者医療特別会計)

市民協働部 保険医療課

[資料]

①後期高齢者医療特別会計事業実績報告書

令和6年度

加東市後期高齢者医療特別会計

事業実績報告書

市民協働部 保険医療課

(1) 概 要

「後期高齢者医療制度」は、高齢化が進展し、高齢者医療費が増加する中、超高齢化社会を展望した新たな医療保険制度体系として、平成20年4月に運営が開始されました。この制度は、75歳以上の高齢者と、65歳以上75歳未満で一定の障害を有する高齢者を被保険者とした独立する医療制度であり、広域連合が運営主体になり、公費(約5割)、現役世代からの支援金(約4割)、被保険者からの保険料(約1割)を財源に、医療費等の給付やレセプト点検、特定健診、葬祭費の支給等を行っています。また、広域連合が医療費の給付や保険料の賦課を行い、市は資格の取得・喪失や給付申請の受付、保険料の徴収等の事務を分担して行っています。

(2) 被保険者数

年度	加東市(世帯、人)		後期高齢者医療被保険者数(人)			
	世帯数	人口	3割負担	2割負担	1割負担	合計
1	17,099	40,214	306		5,189	5,495
2	17,446	40,186	306		5,195	5,501
3	17,171	39,623	298		5,241	5,539
4	17,344	39,546	328	915	4,492	5,735
5	17,671	39,462	333	973	4,670	5,976
6	17,775	39,190	367	1,054	4,749	6,170

(3) 保険料

■保険料の計算方法

保険料は、被保険者が等しく負担する「均等割額」（定額）と前年の所得に応じて負担する「所得割額」の合計です。保険料を決める保険料率は2年ごとに見直され、必要と見込まれる医療費から窓口で支払う一部負担金を除いた医療給付費を、公費（約5割）、現役世代の支援金（約4割）による負担のほか、被保険者の保険料（約1割）で賄うよう算定します。

	均等割額	所得割額	賦課限度額
2年度	51,371円	(前年中の所得-330,000円) × 10.49%	640,000円
4年度	50,147円	(前年中の所得-430,000円) × 10.28%	660,000円
6年度	52,791円	(前年中の所得-430,000円) × 11.24% ※激変緩和措置対象者は10.32%	800,000円 ※激変緩和措置対象者は730,000円

■保険料の収納状況

(単位:円)

徴収区分	期 別															
	第1期(4月)	第2期(6月)	第3期(8月)	第4期(10月)	第5期(12月)	第6期(2月)	合 計	還付未済額	決算額							
特別徴収 現年度	調定額	46,981,895	46,552,267	46,092,776	54,988,229	54,499,466	54,903,299	304,017,932	502,433	304,520,365						
	収納額	46,981,895	46,552,267	46,092,776	54,988,229	54,499,466	54,903,299	304,017,932	502,433	304,520,365						
	未納額	0	0	0	0	0	0	0								
	収納率	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%		100.00%						
普通徴収 現年度	第1期(7月)	第2期(8月)	第3期(9月)	第4期(10月)	第5期(11月)	第6期(12月)	第7期(1月)	第8期(2月)	第9期(3月)	随期(4月)	随期(5月)	随期(6月)	合 計	還付未済額	決算額	
	調定額	20,972,283	21,114,845	21,385,581	22,506,710	22,878,978	22,463,042	22,732,544	22,550,927	23,490,701	576,361	561,223	0	201,233,195	46,351	201,279,546
	収納額	20,857,473	20,971,229	21,206,494	22,283,686	22,678,478	22,297,842	22,567,344	22,241,881	23,154,072	576,361	561,223	0	199,396,083	46,351	199,442,434
	未納額	114,810	143,616	179,087	223,024	200,500	165,200	165,200	309,046	336,629	0	0	0	1,837,112		
普通徴収 過年度	第1期(7月)	第2期(8月)	第3期(9月)	第4期(10月)	第5期(11月)	第6期(12月)	第7期(1月)	第8期(2月)	第9期(3月)	随期(5月)	随期(9月)	合 計				
	収納額	124,986	108,366	186,777	144,888	72,234	60,606	67,530	32,000	191,041	2,000	0	990,428			

現年度保険料収納率について

保険料の納付については、年金から天引きされる特別徴収と、納付書または口座振替で納める普通徴収があり、特別徴収の収納率は100%で、現年度分の普通徴収の収納率は99.09%でした。過年度分を合わせた全体の収納率は99.31%でした。今後も口座振替の推奨や訪問回数を増やすなど収納対策を強化し収納率の向上を図ります。

(4) 決算状況

[歳入] …グラフ1

(円)

項目	決算額	構成比率	備考
特別徴収保険料	304,520,365	47.27%	保険料合計 504,953,227円
普通徴収保険料(現年)	199,442,434	30.96%	
普通徴収保険料(過年)	990,428	0.15%	
保険基盤安定繰入金	121,153,505	18.81%	
繰越金	16,803,491	2.61%	
諸収入	1,339,897	0.20%	
歳入合計	644,250,120	100.00%	

[歳出] …グラフ2

(円)

項目	決算額	構成比率	備考
広域連合納付金(負担分)	503,799,612	80.55%	収納保険料、繰越金
広域連合納付金(軽減分)	121,153,505	19.37%	保険基盤安定繰入金
諸支出金	533,481	0.08%	
歳出合計	625,486,598	100.00%	

◎歳入歳出差引残額 18,763,522円

歳入では、保険料が全体の78.38%で、次いで保険基盤安定繰入金が18.81%を占めています。保険料全体の内訳は特別徴収が60.31%、普通徴収が39.69%の割合で、令和5年度と比較すると特別徴収の割合が1.46%減少しています。保険料は令和5年度より約6,100万円増加しており、被保険者の増加及び保険料率の見直しによるものと考えています。保険基盤安定繰入金は、低所得者等にかかる保険料の軽減分を補てんするもので、対象人数の増加及び保険料率の見直しにより、令和5年度よりも約1,000万円増加しております。

令和6年度加東市後期高齢者医療特別会計決算状況

